

②大学生指導員の養成・確保に関する実証事業 企画提案書（事業概要資料）

**実施計画名**

群馬県における運動部活動の地域移行に貢献できる大学生指導員の養成・確保

**事業概要**

群馬県が行っている運動部活動の地域移行に伴い、指導者不足が大きな課題となっている。これらを解消するため、育英大学が拠点となり、大学生を中心に部活動現場で必要とされる人材育成を目的とする。大学生指導員は中学校の実態に応じた指導が実施できるよう、事前に学内研修会に参加し、運動部活動指導に必要となる、教授方法や競技特性、トレーニング方法などの専門的な知識を習得した上で指導現場に派遣する。

大学生が卒業後も運動やスポーツの現場で活躍できるよう、地域スポーツクラブや学校現場と連携し、大学生のキャリア支援にもつなげる。また、それぞれの地域のニーズに応じた指導者が派遣できるよう、競技種目や競技レベルに応じた指導者が派遣できる体制の構築を目指す。

**■大学生指導員の養成・確保に当たっての仕組みやフロー****①本事業実施に向けた学内説明会**

中学生年代のスポーツ指導に必要な知識やスキルを習得することを目的とした研修会を実施。実施体制図に示した群馬県の教育関係組織・団体と本プロジェクトに関わる情報を共有。学生の指導者希望調査

**②大学生指導員養成研修会の実施**

中学生年代のスポーツ指導に必要な知識やスキルを習得することを目的として、コーチング学、トレーニング学、現職教員との情報交換、コンディショニング等をテーマとした研修会を実施。

**③大学生指導員の調整と派遣**

学生情報と中学校やクラブのニーズに応じて指導員を調整し派遣する。大学としては児童生徒のレベルに応じたプログラムが作成できるよう、学生の支援を行う。

**④大学生指導員の派遣期間中のリフレクションと終了後の報告会**

大学生指導員の派遣期間中に学内においてリフレクションを行い、指導内容の改善に繋げる。また、派遣期間終了後には派遣先の教員等、関係者に向け報告会を実施する。

**■実証事業の検証・評価方法**

- 本事業実施に向けた学内説明会及び研修会の参加人数の検証に加え、参加学生への競技種目及び競技レベル、研修会の理解度を調査し、中学校の実情に合った学生を派遣する。
- また、大学生指導員の自己評価、派遣先中学校担当者からの学生評価および中学生の満足度調査を実施する。
- 上記に加え、研修会講師担当者およびスポーツ推進室員によるリフレクションを行い、成果と課題を抽出する。

**■事業の実施体制図** (学内体制に留まらず、地域の組織・団体との連携体制も示すこと)

主催者には（※）を付してください

